

健康、安寧や幸福という意味を持つ「ウェルビーイング」。経営の観点からは「個人またはグループが、身体的、精神的、経済的、社会的に良好な状態にあること」と定義されています。母の早世、米国生活、家族の病、そして9年間の企業経営を通して、心身の健康の重要性を常に



考えさせられました。下水道事業の長寿命化計画の策定が開始された頃、事後保主よりも予防保全という考え方が浸透しましたが、更新ができません、補修・修繕が容易でない私たちこそ、能動的な予防保全が一層大切だと思います。

当社は、安全配慮義務に基づいた定期的な健康診断の全社員受診などに取り組み、今年3月に健康経営優良法人の認定を受けました。その上で対象者全員に上部消化管と大腸の内視鏡検

査費用を全額助成してがんの早期発見も支援しています。来年1月の創業60周年を機に、当社は「健康」を、「社員が中長期的に生産性を落とすことなく働けること」と定義して、全社員が能動的に健康増進に取り組み企業を目指しています。

具体的な取組みとして、社員にウエアラブル端末を提供しています。一日、一週間、一カ月、

## ウェルビーイング経営

— 菅 伸彦 —

年間の消費カロリー量、早歩きと同等以上の活動時間、歩行距離、心肺機能など日々の身体活動がデータ化されて、目標値の達成状況、平均値のトレンドを意識しながら、無理やムラなく継続的に身体活動レベルの維持・増進を促しています。利用中の社員から、歩く時間が増えて体調がよくなった、座り過ぎ防

止で腰痛改善、睡眠アプリの活用で寝起きがよくなった、などの声も届いています。在宅勤務、リモートワークやウェブ会議の普及等で、一人ひとりの身体活動量の減少による健康リスクの増加が懸念されます。フィジカルアクティブを意識した取組みを通じて、全社的な健康増進と意思疎通の活性化も期待しています。

エアレシ  
ヨンの執筆は  
本稿が最終  
回。当初、金  
融機関での動

務、全国の客先自治体訪問、パングラデシユなどの海外業務、株主総会の議長なども浮かびましたが、私の人生観を大きく変えた米国生活を軸に執筆しました。最後になりますが、ご拝読いただきました産官学各分野の皆さま、日頃よりご高配を賜り感謝申し上げます。

(オリジナル設計社長)